

自然災害と キリスト教信仰

東日本大震災と原発事故の巨大な被害は、私たちに多くのことを語りかけています。災害は過ぎ去らない。それは課題として目の前にあるのです。しかし同時に私たちは、同じような巨大な災厄が繰り返し人類を襲ったことを思い出します。現代の事態は「未曾有」でも「想定外」でもなく、ただ私たちが過去を忘れただけなのです。それらの災害を、ではキリスト教信仰はどのように受け止めて来たのでしょうか。またこれからどのように受け止めるべきなのでしょうか。

講座責任者 片山 寛(神学部教授)

開講期間

2012年9月24日(月)
～11月19日(月)
毎週月曜[全8回]

時 間

各回 18時 30分
～ 20時 00分
9月24日(月) 開講式
18時20分～18時30分
11月19日(月) 修了式
20時00分～20時10分

会 場

西南学院大学 東キャンパス内
西南コミュニティーセンター
1階ホール

受講対象者

一般

定 員

150名

受 講 料

4,000円(高校生2,000円)
[全8回合計]

応募期限

2012年9月12日(水)必着
ただし、その前に定員に達した場合は、
締め切らせていただきます。

第1回 9月24日(月)

神学部講師 日原 広志

ヘブライ語聖書における被造物の福音 ～“あるアダム”から“かの人間”への創造～

第2回 10月1日(月)

名誉教授 小林 洋一

ヨブの経験

第3回 10月15日(月)

神学部教授 青野 太潮

歴史を貫く逆説的生命的法則

第4回 10月22日(月)

神学部教授 須藤 伊知郎

新約聖書における『災害』

第5回 10月29日(月)

神学部教授 金丸 英子

『災害』は教会に何を問いかけたのか :教会史の事例から

第6回 11月5日(月)

神学部教授 片山 寛

『中世の秋』を生きた教会の希望

第7回 11月12日(月)

神学部教授 天野 有

希望の書としての聖書 -その中心から初めと終りに目を注ぐ

第8回 11月19日(月)

神学部教授 松見 俊

優しさと共生を生み出す機会に

